

コミュニティグループガイド

Community Group Guide



④ 福音再考：ヨハネの福音書 シリーズ Re-Think the Gospel Series

ヨハネ福音書2章1-11節「宴会の喜び」

今日の聖書は、イエスがカナの結婚式で最初の奇蹟を行なった非常に有名なテキストです。イエスは結婚披露宴を祝福することによって、ご自分もたらず救いがどのような性質ものであるのかを明らかにしました。キリスト教は道徳やライフスタイル以上のものです。イエスはこの奇蹟によって、ご自分もたらず救いが、喜びに満ちた豊かさであることを明らかにし、どのようにしてこのイエスとかわり、イエスが与えるものを受け取るのかを示しています。

聖書：ヨハネ福音書 2章1-11節

2:1 それから三日目に、ガリラヤのカナで婚礼があって、そこにイエスの母がいた。 2 イエスも、また弟子たちも、その婚礼に招かれた。 3 ぶどう酒がなくなったとき、母がイエスに向かって「ぶどう酒がありません」と言った。 4 すると、イエスは母に言われた。「あなたはわたしと何の関係があるのでしょうか。女の方。わたしの時はまだ来ていません。」 5 母は手伝いの人たちに言った。「あの方が言われることを、何でもしてあげてください。」 6 さて、そこには、ユダヤ人のきよめのしきたりによって、それぞれ八十リットルから百二十リットル入りの石の水がめが六つ置いてあった。 7 イエスは彼らに言われた。「水がめに水を満たしなさい。」 彼らは水がめを縁までいっぱいにした。 8 イエスは彼らに言われた。「さあ、今くみなさい。そして宴会の世話役のところに行って行きなさい。」 彼らは行って行った。 9 宴会の世話役はぶどう酒になったその水を味わってみた。それがどこから来たのか、知らなかったもので、——しかし、水をくんだ手伝いの者たちは知っていた——彼は、花婿を呼んで、 10 言った。「だれでも初めに良いぶどう酒を出し、人々が十分飲んだころになると、悪いのを出すものだが、あなたは良いぶどう酒をよくも今まで取っておきました。」 11 イエスはこのことを最初のしるしとしてガリラヤのカナで行い、ご自分の栄光を現された。それで、弟子たちはイエスを信じた。

考えましょう

1. (1-2, 11節) イエスがカナの結婚披露宴で水をぶどう酒に変えたことは、どんなことだと言われてますか？ここからイエスが私たちにもたらず救いは、どのようなものだと言えますか？豊富なぶどう酒や結婚の祝いは、旧約聖書とイエスのメッセージにおいて、しばしば救いの訪れを意味しています。(参考 黙示録19:6-8、ホセア14:7、アモス9:13-14)
2. 一般的にキリスト教は、人を道徳的で良い人に変える教えのように考えられていますが、今日の聖書はどんなことを強調していますか？(参考 ティム・ケラー)
3. (3-5節) ぶどう酒がなくなった時のマリヤとイエスのやり取りはチグハグに見え、イエスの対応は冷たい態度に感じられます。しかしこの対話の末に、母マリヤはイエスを信頼することを言い表しました。イエスのことばの真意は何だと思えますか？
4. 母マリヤはいわば最初の弟子の一人であり、どのようにイエスに対して応答したらよいのかを具体的に教えるモデルであるとも言えます。ここからイエスに対して、私たちがどのように応答したらよいのか話し合ひましょう。

5. (6-10節) ヨハネが、ぶどう酒に変えられた水が「ユダヤ人のきよめのしきたり」のためであることを強調したのは、救いは律法を守り行なうことによってではなく、神の愛であるイエスによって来る恵みであることを明らかにするためです。私たちの人生のフォーカスをイエスに置き換えることを勧めています。あなたの人生は何にフォーカスされる傾向がありますか？あなたの人生の土台をキリストに置き換えると、どんな変化や喜びを期待できますか？

読みましょう

ヨハネ黙示録19章6-8節

19:6 …ハレルヤ。万物の支配者である、われらの神である主は王となられた。 7 私たちは喜び楽しみ、神をほめたたえよう。小羊の婚姻の時が来て、花嫁はその用意ができたのだから。 8 花嫁は、光り輝く、きよい麻布の衣を着ることを許された。その麻布とは、聖徒たちの正しい行いである。

ホセア書14章7節

14:7 彼らは帰って来て、その陰に住み、穀物のように生き返り、ぶどうの木のように芽をふき、その名声はレバノンのぶどう酒のようになる。

アモス書9章13-14節

9:13 見よ。その日が来る。——主の御告げ——その日には、耕す者が刈る者に近寄り、ぶどうを踏む者が種蒔く者に近寄る。山々は甘いぶどう酒をしたたらせ、すべての丘もこれを流す。 14 わたしは、わたしの民イスラエルの繁栄を元どおりにする。彼らは荒れた町々を建て直して住み、ぶどう畑を作って、そのぶどう酒を飲み、果樹園を作って、その実を食べる。

ティム・ケラー「放蕩する神」 p.113、Tim Keller, *The Prodigal God*, p.108

イエスの救いは祝宴であり、私たちがそうだと信じ、そこに憩うとき、聖霊が私たちの心に働きかけます。神の愛は、蜜のようでもあり、また、ワインのようでもあります。神は愛のお方だと信じるのみならず、その愛の美しさと感じることができるようになるのです。その愛は、他の誰の愛よりも、あなたにとって本当の愛として迫ってくるのです。…だからすべてが変わっていくのです。

Jesus's salvation is a feast, and therefore when we believe in and in his work for us, through the Holy Spirit he becomes real to our hearts. His love is like honey, or like wine. Rather than only believing that he is loving, we can come to sense the reality, the beauty, and the power of his love. His love can become more real to you than the love of anyone else.… This makes all the difference.

祈りましょう

・イエスが婚礼の祝宴のような救いをもたらしてくれたことを感謝し、み名を賛美しましょう。あなたが経験しているイエスによってもたらされた喜びを数え上げて、賛美と感謝と礼拝を神にささげましょう。あなたの人生の土台とフォーカスが、神の計画とイエスの福音にあることを言い表して祈りましょう。

・イエスに対するあなたの応答が、マリヤの態度と比較してふさわしいものでなければ、どうしてそうなっているのか、またイエスの代わりにあなたの人生と心を占めているものは何なのか思いめぐらして悔い改めましょう。

今週、来週のイベント

お弁当プロジェクト 17日(土) 11:30 -

映画The Hobbit鑑賞&ディスカッション 17(土) 16:00 -

聖餐礼拝 18日(日) KDDIホール

礼拝場所の変更：東京コンベンションホール 25日(日) 15:00 -